



## 学習発表会を終えて

11月22日(日)に「久賀っ子学習発表会」が行われました。保護者の皆様にもご参観・ご協力いただきありがとうございました。生徒たちは、「一人ではできないことを仲間と一緒にやりとげる喜び」を味わうことができた様子です。また、地域の方々が普段から生徒たちを気にかけて、励まし、応援してくださっていることを改めて感じる場面が多くあり、「よし、これからも頑張るぞ!」と気持ちが引き締まる一日となりました。以下に生徒の感想の一部を紹介します。

**紗菜** 一番頑張ったことは太鼓の練習です。時間ができたときなどに、机を手で叩いて練習してきました。当日は、お昼ご飯の時に地域の皆さんにお茶を入れることができてよかったです。全体的に、みんなでテキパキ動くことができました。とても楽しい学習発表会でした。

**優樹** 一番頑張ったことは太鼓の演奏です。みんな息を合わせて、音をそろえることができました。踊りの時に、少し動きが小さくなってしまったので、もっと大きく踊りたかったです。人前で話すときには、ゆっくり、はっきり、話すことができてよかったです。

**潤奈** 自分から行動できたと思います。大きな声も出せましたし、発表ではハプニングにも慌てずに対応できました。CMづくりでは自分がこだわって作った部分がたくさんありました。太鼓も強弱をつけて、そろえる部分はそろえて打つことができました。

**壽之亮** 太鼓は満足いく演奏で、叩いていて自分でも迫力がすごいと感じました。オープニングの「高峰揃い打ち」では、小学生と中学生の心が一つになったように感じます。みんな最後まで集中していて、いい発表会だったと思います。

**南帆** デイサービスの方々の作品を見て、とても一生懸命つくっているのが分かり、すごいと思いました。私が特に頑張ったことは会場設営です。先生より先に行動し、てきぱきと動くことができました。分からないときは先生に聞くことができました。島の皆さんたちと交流できました。

**彩** 特に良かったと思う発表は小学生の発表です。台詞も暗記していて、演技も上手でした。自分が頑張ったことは、できそうなことを見つけてテキパキと動くことです。発表の時にもう少し前を見ることができれば良かったと思います。小学生と中学生が協力して成功させたと思います。

人と協力することで、自分の周りにいる人の良さを見つけることができ、自分の良さを見つけることができる...そんなことを感じました。これからも人と協力する気持ちを大切にしたいと思います。

## 読み聞かせ活動の様子

毎週水曜日の朝に、児童生徒が一人一回ずつみんなの前で絵本の読み聞かせをするという活動をしています。今回は潤奈さんと彩さんの読み聞かせの様子を紹介します。



潤奈さんの絵本は「めぐろのさんま」という落語絵本でした。江戸時代、さんまは下魚（げうお）と呼ばれており、「農民が食べるもの」とされていました。殿様は、その農民が食べていた「焼いただけのさんま」を食べたいのに、お城の料理人たちは「殿様に何かあってはならない」という思いでさんまを丹念に下ごしらえし、「さんまの団子汁」にしてみました。殿様と家来たちの思いが見事にすれ違ってしまふ所がとても面白い作品でした。落語ということもあって、話す分量が多かったにもかかわらず、リズムよく潤奈さんが読んでくれました。

彩さんの絵本は「おばけのバーバパパ」という絵本でした。彩さん自身が幼い頃、お母さんに何度も読んでもらった絵本だそうです。フランソワという子どもの庭で生まれたバーバパパは、体が大きく、すぐに形を変えてどこかへいってしまうため、みんなから怒られ、「居場所」を求めてさまよいます。しかし、ある事件をきっかけに、これまで短所だった「形を変える」という特性を、長所として人の役に立てることができました。ありのままの自分を好きになることの大切さや、人のために行動することで「居場所」ができることをこの絵本に教えてもらったような気がします。



2020年もあと一ヶ月ちょっとです。最後まで、「高め合える」仲間と駆け抜けよう！！

### 【今後の日程】

- 30（月） 期末テスト①
- 12/ 1（火） 期末テスト②
- 10（木） 人権集会、中1GTEC
- 15（火） 児童生徒会役員選出会
- 16（水） 薬物乱用防止教室
- 18（金） 全校PTA
- 23（水） 全校専門委員会
- 24（木） 大掃除・終業式